

「生き方の健康」考える

愛情あふれる人間関係で「幸齡」を

静岡でフォーラム 県内外から500人

幸齡あみりー大学(吉永洋子代表)とM-G21世紀の会(増田美佐子代表)は四日、静岡市池田のグランシップで明るい高齢生活を送るために「生き方の健康」を考える「生き生きフォーラム21」(こころ豊かな幸齡ライフを求めて)を開いた。県内外から高齢者や医療関係者ら約五百人が出席した。



県立大の元学長で静岡健康長寿財団の星猛理事長があいさつ。「幸齡学」を提唱しているセレネクイーンスクリニック(静岡市)の響玲於那院長が「10歳から百歳までの幸齡を」と題し講演した。響院長は幸せに生きるための「三つの条件」や「健康コミュニケーション」を解説、

心豊かな「幸齡ライフ」を考える「生き生きフォーラム」は静岡市池田のグランシップ

「愛情あふれる人間関係が長生きで幸せなと指摘した。『幸齡ライフ』を作る」